



市民講座

江戸川区後援

参加費無料！

どなたでもご参加になれます
直接会場にお越しください

地域医療のイノベーションと ICT（情報通信技術） — 災害時にも対応できる医療情報を —

会場：タワーホール船堀 小ホール（都営新宿線「船堀駅」北口1分）

日時：2015年10月29日（木）13時30分～17時

講演者：

石川智久 NPO 法人地方再興・個別化医療支援 理事長
「妻のガン闘病から学んだこと：個別化医療の重要性」

北岡有喜 国立病院機構・京都医療センター医療情報部 部長
「個人向け健康医療福祉履歴管理 (PHR) サービス『ポケットカルテ』
- 臨床研究基盤としてのこれまでの取組と今後の展開について -」

岡崎光洋 一般社団法人スマートヘルスケア協会 代表理事
「“あなたをよく知る手帳” お薬手帳の効用、電子化でもっと活用！」

塚原祐輔 株式会社理研ジェネシス 代表取締役社長
「遺伝子検査・体質に基づく医療と健康管理」



阪神・淡路大震災や東日本大震災では、多くの医療機関での診断記録が喪失し、服用中の薬剤や治療経過、検査値などのデータが失われてしまいました。このために、避難所等における患者への医療対応が困難になったという事実があります。そのような苦い経験を踏まえて、「患者自身のデータは自ら守る」と「診療記録の電子保存」および「クラウド ICT ネットワークの活用」というコンセプトのもとに、個人向け健康情報管理サービスシステムが一部の地域では既に開始されています。

今回の市民講座「地域医療のイノベーションと ICT（情報通信技術）」を開催することにより、個人向け健康情報管理の重要性について市民の理解を深めることを切に願います。

主催：情報計算化学生物学会（CBI 学会）

共催：NPO 法人 地方再興・個別化医療支援

後援：江戸川区

詳細・お問合せ：市民講座ホームページ

http://cbi-society.org/taikai/taikai15/edogawa_seminar.html

本市民講座は、CBI 学会 2015 年大会の一部として開催されます

